

学年	<資料4> 質問8 学校と家庭と地域は、「連携」・「協働」してどんな取り組みを行うか
1	イベントや祭りなどでたくさんの方が参加できる何か。そのための練習や準備などで新しい友人や知り合いが増える。
1	今おられるボランティアやシルバーさんが地域に密着して子ども達と一緒に育ててくださっていると思う。これからも継続してほしい。
1	今の子ども達が石部のことを好きになるような取組をできれば、大人になった時に支えてくれるようになると思う。
1	学校・家庭・地域で、何でも相談できる場を持つ。
1	決められたルールをしっかりと守る。あいさつする中で顔を知る。
1	結婚を機に石部に来て子どももしばらくなく、近所づきあいもあまりないので、子どものこと(学校のこと、行事や役員など)が全く分からず大変。いろいろ教えてくれる、相談できる人がるとありがたい。
1	自分の子どもを通わせたいと思う学校作り。住みたいと思うような地域、環境づくり。
1	それぞれに問題意識を常に持つべき。現状に満足せず、何か問題点を見つけ、解決していく。それぞれの立場から見方が大切で、意見を出し合うことが必要。個々に意見を出し合い、拾う場をつくり、悪いものをよいものに変えていきたい。
1	地域の方々に(親も含めて老若男女をとわず)学校の授業と一緒に参加する機会を増やす。
1	年齢に関係なく、それぞれが参加できる時間帯などで協力し合えたらいいと思う。賛成する人ばかりではないと思うので、親から説明、納得することが大切だと思う。
1	祭りや地域のイベントなどの活動や準備に積極的に参加できるように学年ごとに役割をつくるなど。
1	役員や当番などを決めて、形ばかりにこだわっていると、強制的な印象を受け、どんな取組も敬遠したくなる。大人が楽しくなければ、石部を支えてくれる若者は外に出て行くと思う。まず、大人が楽しめる内容で、気負わず気軽にできる参加型の取組が増えるといい。
1	わからない。
2	いろんな交流会などを増やしていく。
2	核家族、共働き世帯「では、なかなか地域との交流もなく、子ども・両親ともに孤独になりがちなので、交流できる場があればと思う。
2	学校行事に地域の人も参加してもらって、地域の人に子どもの顔を覚えてもらったり、普段から近所の人とコミュニケーションがとれるようになってほしい。
2	学校と地域は、隠蔽体質を改善すべき。未来の話はそれからだ
2	現状の市の予算を調べた上で、ボランティア活動を企画してほしい。
2	高齢者向けのサロンに子どもが参加するなど、子どもとお年寄りが交流する機会があっても良い。地域の人と子どもが直接話をして、顔を覚えられる関係ができる取り組み。
2	子どもたちがもっと地域の人たちと関わりを持って、地域の大人たちに子どもを認めて、褒めて、育ててほしい。子どもたちが作った手作り野菜の販売など。
2	子どもの頃楽しかった思い出や仲間がいれば、育った街を大切に思う大人になれると思う。愛后まつりのような地域の子どもたちも参加できて、ふれ合える祭りやイベント。
2	スポーツカーニバルの参加率向上。地域色を出しての運動会。高齢者とのふれあい向上。めぐるくんバス使用者向上。
2	善悪が分かるように、小さい頃から道徳教育に力を入れる。
2	地域の行事に、子どもたちが主体的に活動できる内容を取り入れてほしい。(夏祭りの出店など)湖南市のスポーツフェスティバルではなく、字ごとの運動会の開催。
2	地域の行事に積極的に参加する。
2	低学年の子どもでも近く公園や友だちの家に安心していけるような、地域のお年寄りや住民の方と顔見知りになれて交流できる場が必要。気楽に集まれる場所。
2	土曜授業をもう一度ほしい。
2	マンションや新しい住宅地も増え、知らない人も多いが、みんなが協力して子どもたちと関わっていく。ちょっとした声かけがあるだけでも気持ちが変わっていくと思う。
2	難しい。今は分からない。
3	「学校」「家庭」「地域」の3つがそれぞれに連携することも大切。今は、「家庭」での責任が薄れているように思います。3つが連携するために、まずは家庭でのルールを守る姿勢が大切だと思います。そういう意識を持って親が取り組んでいくことも必要なのでは・・・と思います。
3	石部にあるいろんな場所を知ってもらったり、行事等に積極的に参加させるようにして、石部の町を好きになってもらう。
3	石部は、同和問題に懸念な取り組みをされている町だとは思いますが、差別をなくそうという中高齢世代と、その一方で陰で差別を続けて後世に語り継がれている中高齢の世代もいるのも現実です。後者の人がいなくなる限り、本当の連携・協働は困難ではないかと思う。
3	異世代が集まる児童館のような場所があるといい
3	お祭りなど、子どもたちにもやってもらって大人と子どもが協力して行う。
3	学校応援団、とても素敵な団体です
3	学校で街のゴミ拾い、老人の方とのふれあいにより敬う心助け合いの心を育てる。これからの石部を支えてくれる若者に育てるためには、まず家庭での親子の絆を深めるための取り組みをすべきで、以前に実施された「ぎゅっとする」抱きしめるというスキンシップもよかったのではないのでしょうか。
3	こまめに話し合いの時間を作って、常にタイムリーな情報を共有しておくよと思います。
3	淋しいことだと思いますが、昔と今のご近所付き合いが違って来ているのと、同じで30年後、もたなくなっていくものだと思います。どんな取り組みをすれば・・・というのは、難しいです。
3	自尊感情を育てることが大事だと思います。学校でも家庭でもそが育つことで、友人やいろんなところに目が向けられるのではないかと思います。自分が安心して自分が責任を持ってできる場(自分の居場所)
3	小学校、中学校一緒に運動会をして、子どもたちとの交流を持てたらいいと思います。
3	特にないです。
3	内面的につつまないと形だけになる。区別化、差別化が内々にある
3	昔の考えにこだわらず、前向きに取り組むことが大切だと思います。
3	礼儀正しい態度を見せる。
3	歴史的な行事だけでなく、今の子どもたちにあった新しい祭りができれば
4	石部の今・昔のよいところを知らせ、石部を好きになってほしい

4	石部は幼稚園・学校・地域のつながりの機会が多い。現在の取組を続けてほしい
4	今でも学校は地域と関わっていると思う。また、地域の方も学校と関わりを持っていると思う。これを、継続していきたくらいと思う。
4	きちんと誰とでも話せる力を育ててほしい。電話でもきちんと会話できる人間に育ててほしい。
4	行事を増やして、いろんな方とのつながりをもつ機会が必要だと思う。
4	継承していく大規模な祭りのようなものへの学校をあげての参加。
4	子どもが大人になるまで切れ目なく見守る仕組みが必要。行政だけでなく家庭や地域もそれに参加できるようにする
4	子どもたちに地域の行事に出てもらい、石部のことをよく知ってもらう
4	将来、石部を支えてくれる若者を育てるには、その子を育てる親の気持ちが大切だと思う。
4	地域活動に積極的に参加すること
4	地域活動への参加を勧める。
4	地域行事の参加・親の意識の向上・親の教育講演会
4	ボランティアさんに対して敬意を持つ。 自分たちが見守られていることを肌で感じ、恩返しの気持ちを持つ
4	昔ながらの石部のよい部分を取り入れ、若人の意見を取り入れる。 自治会の行事を家族で参加する
5	学校、家庭、地域が一つのテーマを決め、または、催しを決め、一緒に取り組める場所をつくり集う。
5	学校が決められた場所に“なんでもポスト”を設置して、学校の先生、生徒、保護者、地域の方、誰でも投稿していいこととして悩み、気づいたことなどを書いてもらう。(実際に私が保育園の役員をしていた時に設置して月一回、役員会で開封して話し合いの場を設ける方法をとっていました。始めのうちは、なじみもなく、ためらう方も多かったのですが、何通か入っていたときは、みんな解決しようとしてひとつになって話し合えていたと思います。)
5	学校と地域の年配の方々との様々な交流、ふれあいを通して、いろいろな話や相談ができる間柄になれることを少しずつしていったら良い。
5	子どもたちが地域に住む大人と知り合い、たくさんの大人に見守られていることを実感できるような取り組み。
5	子どもも大人も地域の行事に積極的に参加する。地元以外の人たちも気楽に参加できる行事を・・・。
5	支え合い、助け合うということを学校でも地域でも家庭でも大事だということを教える。
5	自治会などでの昔からの結束が強く、よそ者を受け入れないところを石部には感じる。学校が関わるのならそれをなしにした、誰でも参加でき、受け入れてもらえる取り組みをしてほしい
5	自分から学びたいことが、手にしやすい環境を作り、選べる地域にしていってほしい。
5	自立した上で助け合えることが大切だと思いますが、具体的にはわかりません。
5	世代に関係なく誰もが自由に参加でき、勉強したりスポーツしたりできる場があれば、交流する機会も増えてよいと思います。
5	全体的な高齢化が一番不安。石部は小さな町なので、小さいまちならではの村おこしのおうなイベントや、町の活性化を若い世代の人たちで発案して、実行して、失敗も含めて地域の人が見守ることが必要だと思う。その中で道徳的なことを学ぶ機会を作ったら良い。教室で学ぶ道徳の授業よりも、体験的な学びが必要なのではないだろうか。
5	そのためには、まず何でも話し合える場そして何でも言い合える雰囲気があればいいと思います。石部は、老人は住みやすいように思えますが、子育てに関して小さい頃から子どもに対しての対策や支援が少ないと思います。金銭的にもそう思いますが、まず若い人たちが住みやすい住みたいと思える町づくりをしてほしいと思います。
5	多様化した現代社会において、どのような取り組みをすればよいか難しい。
5	町内行事への参加。人との「関わりを増やす。他人事と無関心にならない。
5	一人一人が住みやすい町作りに取り組む。
5	普通がいいと思います。高みを望みすぎると競争が激しくなり、争いが起こる。低すぎるとすべてが無気力になる。普通でいることが一番やさしくて安全な人・町になると思う。
5	文化祭などで、一つのを一緒に作りあげるなどの協力。
5	昔は家に祖父母がいて、地域とも自然と繋がりが合っていた。お年寄りや昔の石部の話をしてもらったり、自由に話をする遊びの場を設けたり、企業などの各団体に話をしてもらったりすることが必要だと思う。
5	わかりません。
6	新しいことを始めるのではなく、今あることに関わる人材を増やしていく
6	石部に住んでよかったと思えるようにすること
6	大人の教育をしていく。大人を通して、伝えていかないと、育っていかないと思う。
6	親と子が一緒に参加できるような行事を増やす。何の行事(奉仕作業など)にでも、参加をさせる。
6	学校・地域・家庭が共に同じ目標に向かって一つひとつのことに取り組む
6	学校の噂が地域に広まり、悲しい思いをする子どもたちを知っている。連携、協働よりもっと小さなことを人として頑張ってもらいたい。
6	家庭の中を中心に高齢者に対するふれあいの場を大切にして、思いやり、コミュニケーションがとれるような行事や体験を学校・家庭・地域の横のつながりにつけていく
6	企業誘致→若い世代の移住→子育て環境の改善→人口増加→地域活動の改善
6	ここ最近、目に余る様な事件が多くあり、子どもたちは世間や大人に対して不信感を抱いています。若人を育てる為には、大人が子どもに安心感を与えてあげる事が一番大切な事かなと思います。
6	個々の子にあったよいところや興味のあることを伸ばしていける場があればよい
6	子どもたちが今まで以上に住みよいまちにするために、巡視・パトロールを強化し、安心して生活できる環境作りを目指す。
6	自治会に入らなくても行事に参加できるようにすれば、地域密着になるかと
6	ずっと石部で暮らしたいと思えるまちづくりが必要
6	地域ぐるみでの活動を増やしていく。 昔のように大人も子どももみんなが声をかけ合える環境作り
6	人との関わり方を学ぶ為に地域の活動に気軽に参加できる取り組みが必要だと思います。昔からのやり方や方法によらず、若い人の意見も取り入れていくと良いと思います。
6	古くから住んでおられる方と新しい人たちに格差がある
6	まずは、石部を好きになってもらうことでしょうか。登下校の時など自然と誰とでもあいさつができるような環境になるといいなと思います。

6	まずは、子どもたちが石部のまちを知り、好きになってくれること、地域の人たちと顔見知りになっていくことが大切だと思う。昔のように放課後友だちとの遊びや、地域の行事の中でできていたことが、今はできないが、反面、今の子どもの方が塾や習い事で知り合った地域以外の子どもや大人と交流する機会も多く、様々なことを吸収していると思う。どんな取り組みをすればよいか…。という解答にはなりません、現在の子どもの良さを生かし、今後ますますグローバル化する社会にあった取り組みができれば良いと思います。(ただ、家族でそのような支援ができないことも多く、やはりコミュニティスクールは必要な取り組みなのでしょうね。)
6	夜遅くまで遊んでいる子どもたちがいます。今やっているバトロールなどは続けていったら良いと思う。